

第10回議会報告会

報告書



令和6年10月
海老名市議会

【目 次】

【海老名市議会報告会開催概要】 ····· P 2

【第1部】 議会の仕組み・議会からの報告 ····· P 3

【第2部】 議会への質問・議会ツア— ····· P 3～5

【アンケート結果】 ····· P 5～8

【広報委員会での検証結果】 ····· P 9

【総括】 ····· P 10

【出席議員一覧】など ····· P 11

【海老名市議会報告会開催概要】

○ 目的

開かれた議会を目指し、市民の負託に的確に応えられるよう議会活動の状況等について説明責任を果たすとともに、市民の意見や要望等を広聴するなど、市民との対話の機会を図るため、議会が主体となって議会報告会を開催する。

○ 実施主体及び出席議員

実施主体：海老名市議会（海老名市議会 広報委員会）

出席議員：別紙名簿のとおり

○ 実施日時、実施場所、参加人数など

・対面式

令和6年7月20日（土） 午前10時から午前11時30分まで

海老名市役所 6階 議場 参加人数：24人（うち子ども3人）

・ライブ配信

令和6年7月20日（土） 午前9時40分から午前11時03分まで

YouTube 同時視聴最大数：5件

・録画配信

令和6年7月20日（土） ライブ配信終了後から

YouTube 令和6年9月20日（金）まで（視聴回数）：140回

○ 実施内容

1 議長あいさつ

2 【第1部】（1）議会の仕組み

3 【第1部】（2）議会からの報告

4 休憩

5 【第2部】（1）議会への質問

6 【第2部】（2）議会ツアー

【第1部】

(1) 議会の仕組み

市民に議会への興味をもってもらうこと、また若い世代に対して議会の仕組みを知つてもらうことを目的として、資料「海老名市議会について」を活用して、議会の仕組みについて説明を行いました。

(2) 議会からの報告

令和6年度予算審査にあたって、予算決算常任委員会各分科会での審査の際に、各議員がどのような問題意識をもって質疑を行ったのかという点に着目して報告を行いました。

各分科会で質疑を行った委員から、自身が行った質疑の中から1つの予算（事業費名）を挙げてもらい、なぜその事業費を取り上げたのかについて報告するとともに、それに伴う答弁に関しても報告に盛り込みました。

報告は、総務、文教社会、経済建設分科会の順で行い、各分科会会长が委員分をまとめて説明を行いました。また、総務分科会の報告の冒頭では、令和6年度の予算規模や広報えびなに掲載された主要事業について説明を行い、議会で審査されるまでの流れについても説明を行いました。

【第2部】

(1) 議会への質問

議会だより、ホームページなどを通じて事前に質問を募集して回答を行いました。

今回は、事前に募集した質問がいずれも市議会に対する質問だったため、広報委員長が代表して回答を行いました。

・事前に募集した5つの質問

質問1 傍聴席について

議会傍聴をしていた時に、議員席からヤジが聞こえてきて嫌な雰囲気が伝わってきたことがあります。傍聴席が2階にあることで閉鎖的な印象を作っているような気がしている。市民と近い距離で、緊張感を持ち、開かれた議会になってほしいため、議員と同じフロアでの傍聴席を用意してもらえないか。

【回答】

市民に開かれた市議会として、傍聴のしやすさは重要と考えます。

現在、安全性やセキュリティの観点からも議場と傍聴席を分ける配置となっており、構造上2階であることは仕方ないことと思われます。しかし、宮崎県日向（ひゅうがし）市や新潟県新発田市など、庁舎の建て替えに合わせ議場と傍聴席が同じフロアにある議会も増えており、庁舎建て替えや改修があった際には、議場と同じフロアの傍聴席にすることについて議論していくことが必要と考えます。

質問2 親子傍聴席の設置について

託児は1週間前に予約しなければならないこと、傍聴したい一般質問があっても時間が読めず、使いにくい状況にある。防音ガラスで隔てた個室やキッズコーナーなど親子傍聴席が設置されているところもあるそうで、幼い子どもがいても気兼ねなく傍聴するために親子傍聴席を設置してもらえないか。

【回答】

現在の託児の利用率を考えると、親子傍聴席を新設するにはお金の面でのハードルがあると思います。

現在、子どもと一緒に傍聴席に入ることは制限されておらず、子どもと一緒に傍聴も可能です。議会フロアでは議場外でも音声による傍聴が可能で、議場入り口にはソファを設置しており、子どもと一緒に来られた方が一時的に休憩をしたり、子どもを落ち着かせたりするスペースとしてご利用いただけます。

今のままで子どもと一緒に安心して議会の様子を聞くことができる環境は整っているという意見がある一方で、他市を参考に、防音で気兼ねなく傍聴できる親子傍聴席はあった方が良いのではないか、という意見もありました。

将来的に大規模改修が計画される際などには、他市の例などを参考に議論していくことが必要と考えます。

質問3 傍聴時の服装について

傍聴の際に、帽子とコートを外すように求められ驚いた。市民が気軽に来る場所ではないような気持ちになったので、もっと気軽に傍聴に行ける雰囲気を作つてほしい。

【回答】

現在、傍聴規則の中で、帽子やコートの着用が禁止されており、外すようお願いした経緯があると思います。帽子とコートを外すことについては、品位や格式というよりも、一般的なマナーの問題としてお願いしております。ただし、病気その他の理由により議長の許可を得た場合はその限りではありませんので、傍聴の際に事務局にご相談いただければと思います。

質問4 インターネット配信について

本会議のネット公開に時間がかかり、議事録公開も遅いため、委員会と同じようにYouTubeで配信できないか。

【回答】

本会議の中継も翌日にはアップされている自治体もあり、速やかな公開を求める動きもありますが、現在、本会議中継はライブ配信されており、公式な文章・記録を残すには手順が必要なので公開の時間がある程度かかる仕方ない面もあります。

インターネット中継と公開のあり方全体で議論を深めていく必要があると考えます。

質問5 議会中の議員の態度について

以前傍聴した時、スマホをずっと利用していた議員がいて驚いた。今後市議会として、どうしていくか対応と対策を聞きたい。

【回答】

本会議は市政の重要な事項を審議する場であり、議員が適切な態度で臨むことは当然の義務です。今回のご指摘を受け、議会として本会議中のスマートフォン等の電子機器の使用について、改めて全議員に注意喚起を行います。

(2) 議会ツアー

議場に入ることも滅多にありませんが、6階には議場以外にも市議会の議事運営にかかる様々な会議室があるので、それぞれの会議室等を実際に見て、その使用方法を知っていただくことで、より議会に精通いただけるのではとの考え方から、今回初めての試みとして議会ツアーを行いました。

詳細については、議員がツアーガイドとなり、議場、議会図書室、第1委員会室、全員協議会室、各会派控室などを見て回りました。参加された方は皆、御満足いただけた内容だったと感じております。

(なお、議会ツアーについては、放送機材の都合上 YouTube 上に放映してございませんので、ご了承願います。)

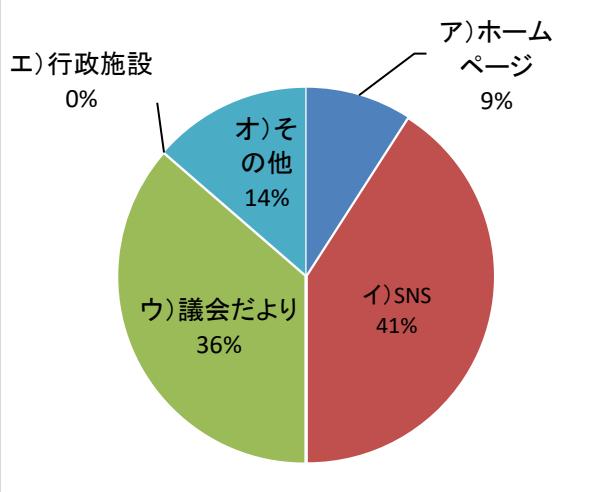
【議会報告会終了後のアンケート結果】

来場者 24名 アンケート回収率：79% (19枚)

○開催を知った媒体

(ホームページ、フェイスブック・ブログ、議会だより、ポスター、その他)

開催を知ったのは？

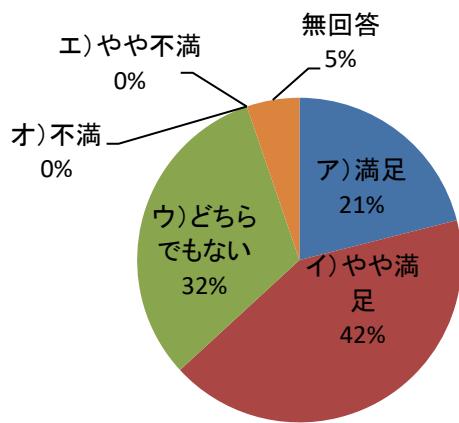


複数回答のその他回答

・議員の声掛け 8名

○第1部の内容について

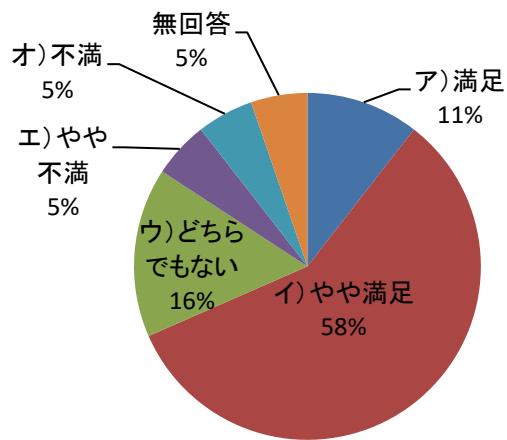
①議会の仕組み



具体的なコメント

- ・分かりやすかったが、若干駆け足
- ・よくわからない
- ・常任委員会と分科会の関係が理解できない
- ・冊子が簡潔にまとまっていてわかりやすい
- ・なんとなくイメージできました

②予算審査報告

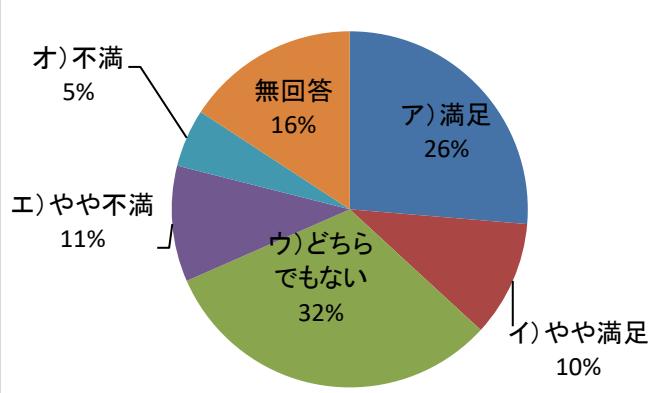


具体的なコメント

- ・文章を読み上げるだけ。言葉が難しかった。
- 分かりやすい言葉を
- ・進行スピードが丁度良い
- ・資料を読むだけだったのが残念
- ・資料を読むだけ。議員の言葉で話してほしい
- ・様々な事業が行われていることが知れて良かった。用語が難しく分かりづらい。
- ・例えば32事業を分野ごとにくくって書く方が、分かりやすくかつ見やすい

○第2部の内容について

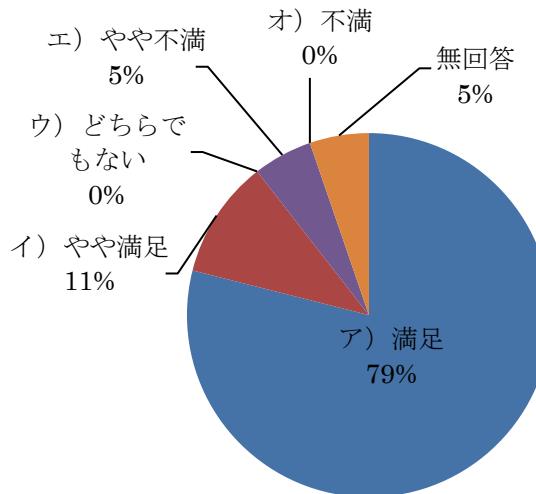
①議会への質問



具体的なコメント

- ・質問の回答が納得できた
- ・事前に質問できることを知りたかった
- ・始まる時に委員長が挨拶されてたのが良かった
- ・1つ1つ答えてもらえた。回答が分かりやすかった。
- ・回答が浅い
- ・予想通りの現実的な回答
- ・もう少し、分かりやすく、簡潔な表現を

②議会ツアーアンケート

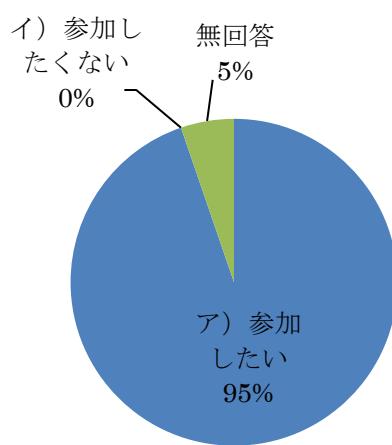


具体的なコメント

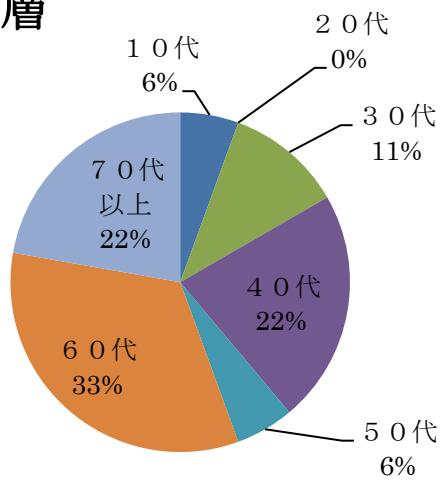
- ・議員が身近に感じられた
- ・知らないところを知ることができた
- ・図書室の中に無会派の部屋があることに差別を感じる
- ・初めてなので（満足）
- ・議員の「自分は特別」感がわかる
- ・初めて見るところが多くかった
- ・議員のツアーガイド素晴らしかった。今後も続けて欲しい。議長席に座れて感動。
- ・普段入れない場所や議長席に座る体験ができた
- ・普段見られないところが見れて良かった

○今後の参加について

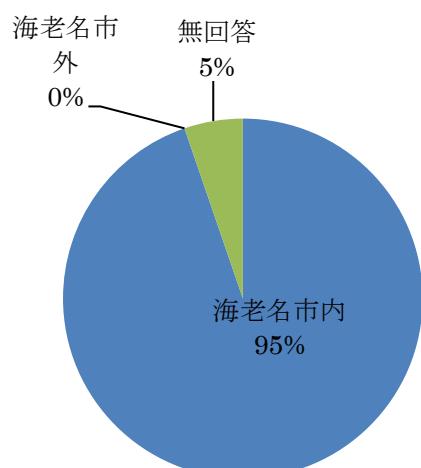
今後の参加



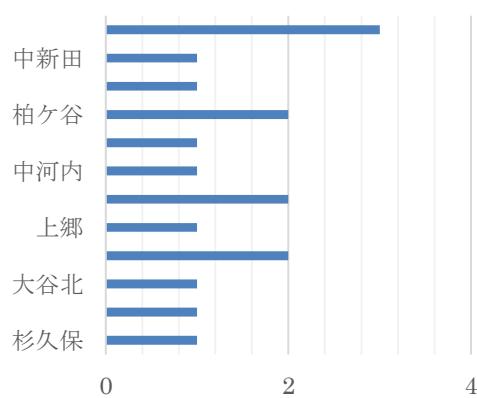
年代層



全体



アンケート回答者住居地区



○その他：ご意見・ご感想（※原文そのまま掲載）

- ・また参加させていただきたいです。議会ツアーラ楽しかったです。
- ・予算決算常任委員会の各分科会の報告が興味深かったが、市民が予算に関係する要望を出したい時、いつまでに提出できればよいか？など、もっと市民の立場にたった内容の提示が欲しいと感じた。
- ・本会議の質疑風景も傍聴してみたい。
- ・夏休み子どもツアーアーがあつたら楽しいのでは？
- ・タブレットによる筆記がとても役に立った。手話通訳・筆記要約よりもリアルであり、わかりやすい。
- ・市民の代表としてとにかく働いてほしい。自民とか共産とか枠をはずして市民のために（ムリカ）自分の地位、金、会派や党のためにはたらかないでほしい。ワクチンやめて下さい。
- ・本日はありがとうございました。
- ・議員さんを身近に感じられる、とても貴重な時間でした。ありがとうございました。
- ・議会からの報告が、もう少しゆっくりと話してほしかった。
- ・産前産後ヘルパー・サポート事業について、費用、補助、シングルの方のサポートを考えてほしいと思いました。
- ・赤ちゃん預けも、ゆっくり休むも、上のお子さんもいられる方はどうするのか？など
- ・議会ツアービーとてもよかったです。
- ・普段から手話通訳だけでなく、音声言語を文章にする機械があるので導入された方がよろしいのではないかでしょうか。名称忘れましたが透明な画面に文字がでてくるものです。
- ・本日はありがとうございました。議会をみてまわるのも楽しかったです。議員の皆さんも身近に感じられました。
- ・進行案内等々、良かったです。
- ・今日当日の質疑応答が出来なかつた事が残念でした。今後検討お願いします。
- ・私は地域で精神障がい者に料理を教えているのだが、貧しい人が料理（自炊）するようになると経済的に助かる。自炊してあつたお金で、他の物を買えるようになり、生活レベルが上がる。貧しい精神障がい者の生活レベルを上げたい。行政に協力して欲しい。
- ・子どもも一緒に参加できる様にしてほしいという意見がありました。参加することはとても良い事とは思いますが、やはりこういった場所に子どもをつれて来ても親も子どももおちつかないのではと思いました。託児所を設置出来るなら良いと思います。
- ・人権を一番念頭においた政治を期待します。ありがとうございました。

【委員会での検証結果】

- ・議会の仕組みは、より簡潔にまとめるか、または資料配布でも良かったのではないか。
- ・予算審査報告は全体的に簡潔にまとまって良かったが、報告の仕方は一方的な説明を聞く形式への課題が取り上げられた。ただ、現在の発表形式を変えた場合にも課題があるため、今後の検討課題とした。その他には事業費は複数年にまたがる案件が多く、市民向けの説明には、事業全体の概要を事前に説明した方が良いという意見もあった。
- ・新たな試みとして議会ツアーや行ったことによって参加者が高い満足度を得られたのは良かった。一方で、運営側としてはツアーやの時間が短かったという反省点があった。
- ・広報委員が全員で準備の段階から役割分担を行うようにすべきではないか。またそのためにも事前から計画を立てて行うと明確にしやすい。
- ・当日受付も行うが事前申込みを受けることも検討材料。準備方法などにも影響するので、ある程度人数を把握することも必要。
- ・受付は、簡易で議員と参加者がフランクな形で運営出来たと感じた。ろう者への対応もiPadで出来て良かった。一方で開催時間の通知だけでなく、開場時間を事前周知すべき。
- ・前回より出席者や子どもが増えたのは良かったが、本報告会は10回目を終え、今まで様々な策を講じてきたが依然として市民参加者は大きく増加していない。広報・広聴のあり方を検討する時期ではないか。これからは議会と市民の討論の場を設けたり、子ども議会を開催したり、他団体との意見交換などを行える内容にできるように議会基本条例の変更も検討材料ではないか。
- ・他市の事例を参考にして、次回企画するのも1つではないか。
- ・今回の反省を踏まえて細かい部分の精査を行った上で、議会報告会の開催形式はそのままでもう一度開催するのはどうか。
- ・広報手段については、今回、自治会回覧や掲示板を使用しない運用を行った。しかし議員個人のSNSを見て来庁した方が多かったため、今後はより広報手段に対しての様々な研究が必要。

以上のとおり検証結果を行い、次期広報委員会に引き継ぐ。

【総括】

今年で10回目の開催となった議会報告会は、改選後初めてということもあり、議会報告会を経験したことのない議員も多かったことから、開催場所や開催方法を大幅に変更せずに、前年度の内容を基にしながら部分的に新しいことも取り入れ、来年度に繋げることを目指して内容を決定しました。

今回は新しい取り組みとして、議会の役割や本会議の流れなどが分かる資料を用意し、「議会の仕組み」を説明する時間を設けました。アンケート結果を見ると概ね満足していただけたようですが分かりにくかったという感想もありました。広報委員会の振り返りの中では、資料の配布のみでも良いのではないかとの意見もありました。

「議会からの報告」は昨年と同じように予算の審議結果を分科会ごとに各分科会会长がまとめて報告をしましたが、資料を読むだけの報告に対してアンケートなどで不満の声が寄せられました。広報委員会の振り返りの中でも、報告方法については課題であるとの意見がありました。今後どうしていくのかは十分な議論が必要です。

「議会への質問」については、今回は事前に受け付けた質問への回答のみとしました。このことについては、当日質問したかったとの声もありましたが、議会としての回答をその場で出すことが非常に難しいという課題があります。市民の方は双方向のやり取りを求めていると感じますので、今後検討する必要があると考えます。事前にいただいた質問については、今回は議会傍聴に関する内容が多く、市民の方の議会への関心が伺えました。回答内容は様々な意見の議員がおりまとめるのに苦慮しましたが、議会としても課題を改めて議論する良い機会になりました。

今回の最も大きな試みとして、「議会ツアーア」の実施がありました。議会ツアーアについては、アンケート結果やコメントを見ても大変満足度が高く、またやって欲しいとの意見もありました。ツアーア案内、会派控室案内など、議員がそれぞれ役割を持ってアテンドすることで、議員をより身近に感じてもらうことができました。また、ツアーア中に参加者同士や参加者と議員の間に自然に会話が生まれ、和やかな雰囲気でコミュニケーションを図ることができました。広報委員会の振り返りの中でも、やって良かったとの意見がありました。反省点としては時間が足りず駆け足になってしまったという点が挙げられます。

周知方法については、今回は自治会回覧板へのチラシ配布をせず、議員のSNSなどを活用しました。結果的には幅広い世代の参加があったため今回のやり方にも一定の効果はあったと考えますが、今後も多様な方に参加していただけるよう周知方法についての検討が必要です。

また、今回の反省点として、聴覚障害のある方の事前申し込みが把握できていなかったということがありました。その場で要約筆記やタブレットの自動音声読み込みを使用して対応はできましたが、今後はメールの見逃しがないように徹底することが必要です。また、障がいのある方がより参加しやすい環境を整えることも課題です。

今回の議会報告会は、昨年より参加者が7名増え、お子さんの参加もありました。また、初めて取り組んだ議会ツアーアが好評であったなど、全体的に良い変化が見られました。今後もより一層市民の方に分かりやすく、議会のことを身近に感じてもらえるような議会報告会の在り方について、議論をしていきます。

【出席議員一覧】

森下 賢人（議長）
松本 正幸（副議長）
ありい あいこ（広報委員会委員長）
伊左次 雄介（広報委員会副委員長）
吉田 みな子（広報委員）
鈴木 さよ子（広報委員）
大塚 真樹（広報委員）
星 伸一（広報委員）
さの るみ（広報委員）
倉橋 正美（総務分科会会长）
戸澤 幸雄（文教社会分科会会长）
永井 浩介（経済建設分科会会长）
藤澤 菊枝
宇田川 希
田中 ひろこ
葉梨 之紀
三宅 紀昭
藤枝 ふみひこ
大下 久美
たいら 学
森 英之

【当日欠席者】

たち 登志子